



Cisco Unified CME の電話機能の設定

Updated: November 17, 2006

この章では、Cisco Unified CallManager Express (Cisco Unified CME) の個々の SIP 電話機に影響を与えるオプション機能の設定方法について説明します。

機能に関する情報の入手

使用している Cisco IOS ソフトウェア リリースが、このマニュアルで説明するすべての機能をサポートしているとは限りません。このマニュアルにある個々の機能のドキュメントへのリンク、およびそれぞれの機能がサポートされるリリースのリストを確認するには、このマニュアルの「[Cisco Unified CME \(SIP 電話機用\) の機能](#)」の項を参照してください。

Cisco IOS 音声機能については、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6441/prod_configuration_guide09186a0080565f8a.html にある「Cisco IOS Voice Configuration Library」全体（ライブラリの前書きと用語集、各種機能に関する資料、およびトラブルシューティングの情報を含む）を参照してください。

プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージに関するサポート情報の入手

Cisco Feature Navigator を使用して、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索します。Cisco Feature Navigator を使用すると、Cisco IOS と Catalyst OS のどのソフトウェア イメージが、特定のソフトウェア リリース、機能セット、およびプラットフォームをサポートしているかを特定できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> を参照してください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

Cisco Unified CME に関するサポート情報の入手

Cisco IOS ソフトウェアと Cisco Unified CME の互換性については、『*Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix*』

(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps4625/products_documentation_roadmap09186a0080189132.html) を参照してください。

Cisco Unified CME の仕様（サポートされる電話機の台数を含む）については、製品のバージョンに応じた『*Cisco Unified CME Firmware, Platforms, Memory, and Voice Products*』 マニュアル

(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps4625/products_documentation_roadmap09186a0080189132.html) を参照してください。

内容

- SIP 電話機用の Cisco Unified CME 電話機能の設定方法 (P.88)
- 次の作業 (P.98)
- その他の資料 (P.99)
- SIP 電話機用に Cisco Unified CME で設定する機能 (P.100)

SIP 電話機用の Cisco Unified CME 電話機能の設定方法

この項では、次の作業について説明します。

- テンプレートの作成と SIP 電話機への適用 (P.88)
- 電話会議機能の設定 (P.90)
- サイレント (DND) の設定 (P.93)
- インターコム自動応答の設定 (P.95)
- 短縮ダイヤル機能の設定 (P.96)

テンプレートの作成と SIP 電話機への適用

個々の Cisco SIP IP Phone に適用できる共通機能およびソフトキーのテンプレートを作成するには、この項で示す手順に従います。

要約手順

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `voice register global`
4. `mode cme`
5. `exit`
6. `command`
7. `voice register template template-tag`
8. `exit`
9. `voice register pool pool-tag`
10. `template template-tag`
11. `end`

詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code> Router> <code>enable</code>	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力するように求められた場合は、入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> Router# <code>configure terminal</code>	global 設定モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<code>voice register global</code> Router(config)# <code>voice register global</code>	Cisco Unified CME でサポートされているすべての SIP 電話機のパラメータを設定するため、 <code>voice register global</code> 設定モードを開始します。
ステップ 4	<code>mode cme</code> Router(config-register-global)# <code>mode cme</code>	SIP 電話機を Cisco Unified CME でプロビジョニングするためのモードを有効にします。
ステップ 5	<code>exit</code> Router(config-register-global)# <code>exit</code>	設定モードを終了して、設定モード階層の次の上位モードに移行します。
ステップ 6	<code>voice register template template-tag</code> Router(config)# <code>voice register template 1</code>	<code>voice register template</code> 設定モードを開始し、Cisco Unified CME の SIP 電話機用に共通パラメータのテンプレートを定義します。 <ul style="list-style-type: none">値の範囲は 1 ~ 5 です。
ステップ 7	<code>command</code> Router(config-register-template)# <code>anonymous block</code>	指定したコマンドをこのテンプレートに適用し、このコマンドが設定されているテンプレートを使用するサポート対象の SIP 電話機すべてで、対応する機能を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"><code>voice register template</code> で使用できるコマンドのリストを表示するには ? と入力します。この <code>voice register template</code> に追加する機能ごとに、この手順を繰り返します。
ステップ 8	<code>exit</code> Router(config-register-template)# <code>exit</code>	設定モードを終了して、設定モード階層の次の上位モードに移行します。
ステップ 9	<code>voice register pool pool-tag</code> Router(config)# <code>voice register pool 3</code>	SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定するため、 <code>voice register pool</code> 設定モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"><code>pool-tag</code> : 設定する Cisco SIP 電話機の固有のシーケンス番号。値の範囲は、1 ~ 100 (または <code>max-pool</code> コマンドで定義した上限値) です。
ステップ 10	<code>template template-tag</code> Router(config-register-pool)# <code>voice register pool 1</code>	<code>voice register template</code> コマンドで作成したテンプレートを適用します。 <ul style="list-style-type: none"><code>template-tag</code> : <code>voice register pool</code> コマンドで指定した SIP 電話機に適用するテンプレートの固有のシーケンス番号。値の範囲は 1 ~ 5 です。
ステップ 11	<code>end</code> Router(config-register-pool)# <code>end</code>	設定モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。

例

次の例は、テンプレート 1 と 2、および次に示す作業を行う方法を示しています。

- テンプレート 1 を SIP 電話機 1 ～ 3 に適用する。
- テンプレート 2 を SIP 電話機 4 に適用する。
- 以前に作成したテンプレート 5 を SIP 電話機 5 から削除する。

```
Router(config)# voice register template 1
Router(config-register-temp)# anonymous block
Router(config-register-temp)# caller-id block
Router(config-register-temp)# voicemail 5001 timeout 15

Router(config)# voice register template 2
Router(config-register-temp)# anonymous block
Router(config-register-temp)# caller-id block
Router(config-register-temp)# no conference
Router(config-register-temp)# no transfer-attended
Router(config-register-temp)# voicemail 5005 timeout 15

Router(config)# voice register pool 1
Router(config-register-pool)# template 1

Router(config)# voice register pool 2
Router(config-register-pool)# template 1

Router(config)# voice register pool 3
Router(config-register-pool)# template 1

Router(config)# voice register pool 4
Router(config-register-pool)# template 2

Router(config)# voice register pool 5
Router(config-register-pool)# no template 5
```

電話会議機能の設定

Cisco Unified CME の SIP 電話機の会議機能を設定するには、この項で示す手順に従います。

同時会議の最大数はプラットフォームによって異なり、Cisco Unified CME ルータのタイプに基づきます。各 SIP 電話機が開催できる会議は、一度に 1 つまでです。既存の会議をすでに 1 つ保留にしている場合、2 つ目の会議を電話機上に作成することはできません。

音量を適切なレベルで提供するには、外部コールのゲイン レベルを調整します。この機能は、コールに参加するリモートの PSTN 発信者または VoIP 発信者の声が会議参加者にはっきりと聞こえるようにするために、着信オーディオ パッケージに適用されます。ただしこの機能は、音量ゲインを必要とするリモートの VoIP 送信元または Foreign Exchange Office (FXO) 送信元と、音量ゲインを必要としないリモートの VoIP 電話機または Cisco Unified IP Phone とを区別できないため、音声の歪みが発生する場合があります、注意が必要です。

電話会議を開催してから電話を切るユーザは、残りの通話相手を接続されたままにするか、切断するかを選択できます。会議開催者は、[会議 (Conf)] ソフトキーを押すと、電話会議から切断できます。会議開催者の終了制御は、電話機ごとに設定できます。

開催者が [会議 (Conf)] ソフトキーを使用して電話会議から切断すると、最も古いコール レッグが保留になり、開催者は打診なしで最新のコール レッグに接続された状態になります。その後、会議開催者は、[保留 (Hold)] ソフトキーまたは回線ボタンを押して目的のコールを選択すると、2 者間を移動できます。

前提条件

[会議 (Confrn)] ソフトキーを使用してコール転送を容易にするには、会議と在席転送またはブラインド転送を有効にする必要があります。

制約事項


SIP 電話機から開始されたコール保留の場合、Music on hold (MOH; 保留音) はサポートされません。SIP 電話機からコールを保留した場合、発信者には何も聞こえません。

要約手順

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony service**
4. **max-conferences** *max-conference-number* [*gain -6 | 0 | 3 | 6*]
5. **exit**
6. **voice register pool** *pool-tag*
7. **keep-conference**
8. **end**

詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力するように求められた場合は、入力します。
ステップ 2	configure terminal Router# configure terminal	global 設定モードを開始します。
ステップ 3	telephony service Router(config)# telephony service	telephone-service 設定モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<pre>max-conferences max-conference-number [<i>gain</i> -6 0 3 6]</pre> <p>Router(config-telephony)# max-conferences 4</p>	<p>Cisco Unified CME ルータによって同時にサポートされる 3 者間会議の最大数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>max-conference-number</i>: ルータによって同時にサポートされる 3 者間会議の最大数。この数はプラットフォームによって異なります。デフォルトは各プラットフォームでの最大数の半分です。この引数の最大値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> – 8 : Cisco 1700 シリーズ、Cisco 2600 シリーズ、および Cisco 2801 のルータの場合。 – 16 : Cisco 2811、Cisco 2821、Cisco 2851、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズのルータの場合。 – 24 (Cisco IOS Release 12.3(11)XL 以降が必要) : Cisco 3800 シリーズのルータの場合。 • 各 Cisco Unified IP Phone が開催できるのは、一度に 1 つの会議だけです。既存の会議をすでに 1 つ保留にしている場合、2 つ目の会議を電話機上に作成することはできません。 • <i>gain</i> : (オプション) 電話会議に参加する VoIP 利用者および PSTN 利用者の音量を上げます。許容されるデシベル (db) 単位は、-6、0、3、および 6 です。デフォルトは -6 db です。
ステップ 5	<pre>exit</pre> <p>Router(config-telephony)# exit</p>	<p>設定モードを終了して、設定モード階層の次の上位モードに移行します。</p>
ステップ 6	<pre>voice register pool pool-tag</pre> <p>Router(config)# voice register pool 3</p>	<p>SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定するため、voice register pool 設定モードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>pool-tag</i>: 設定する SIP 電話機の固有のシーケンス番号。値の範囲は、1 ~ 100 (または max-pool コマンドで定義した上限値) です。
ステップ 7	<pre>keep-conference</pre> <p>Router(config-register-pool)# keep-conference</p>	<p>(オプション) Cisco Unified IP Phone の会議開催者が電話会議を終了した後、残りの通話相手を接続されたままにできます。</p> <p> (注) このステップは、このコマンドを以前に無効にした場合に、有効にする方法を示すために記述されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルトでは有効になっています。 • transfer-attended (voice register template) コマンドまたは transfer-blind (voice register template) コマンドによって有効になっている打診を行わずに、残りのコールは転送されます。
ステップ 8	<pre>end</pre> <p>Router(config-register-pool)# end</p>	<p>設定モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。</p>

サイレント（DND）の設定

Cisco Unified IP Phone の Do-Not-Disturb (DND; サイレント) 機能セットをソフトキーで設定するには、この項で示す手順に従います。

着信コールがあると、[応答 (Answer)] と [サイレント (DND)] の 2 つのソフトキーが電話機ユーザに表示されます。

Call-Forward No-Answer (CFNA; 無応答時転送) を設定している場合、[サイレント (DND)] ソフトキーを押すと、着信コールがただちに指定の番号（一般にはボイスメール番号）に転送されます。

内線に無応答時転送を設定していない場合、[サイレント (DND)] ソフトキーを押すと、発信者によってコールが終了されるまで呼び出し音は鳴らなくなります。呼び出し音のミュートは一時的なアクションであり、現在のコールだけに適用されます。電話機がアイドル状態のときに [サイレント (DND)] ソフトキーを押すと、電話機の呼び出し音がミュートされた状態を維持できます。この操作により、電話機のディスプレイがアクティブなまま着信コールの発信者 ID が表示されるため、着信コール スクリーニングが可能になります。

すべての着信コールを避けるには、`call-forward all-calls` を設定して、すべての着信コールがボイスメールや別の内線に無条件に転送されるようにセットアップします。詳細については、P.63 の「SIP 電話機用の Cisco Unified CME 機能の設定」の「SIP 電話機対 SIP 電話機の自動転送の設定」を参照してください。

[サイレント (DND)] ソフトキーは、`voice register template` 設定モードでも設定できます。`voice register template` のコマンドは、個々の電話機に適用できる共通機能およびソフトキーのテンプレートを作成するために使用されます。詳細については、P.88 の「テンプレートの作成と SIP 電話機への適用」を参照してください。

要約手順

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `voice register pool pool-tag`
4. `dnd`
5. `exit`
6. `voice register dn dn-tag`
7. `call-forward b2bua noan directory-number timeout seconds`
8. `end`

詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code> Router> <code>enable</code>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを入力するように求められた場合は、入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> Router# <code>configure terminal</code>	<code>global</code> 設定モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<pre>voice register pool pool-tag Router(config)# voice register pool 1</pre>	<p>指定した SIP 電話機のパラメータを設定するため、voice register pool 設定モードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <i>pool-tag</i>: 設定する SIP 電話機の固有のシーケンス番号。値の範囲は、1 ~ 100 (または max-pool (voice register global) コマンドで定義した上限値) です。
ステップ 4	<pre>dnd Router(config-register-pool)# dnd-control</pre>	<p>指定した設定対象 SIP 電話機の DND を有効にします。</p> <p> (注) 内線に無応答時転送が設定されていない場合、[サイレント (DND)] ソフトキーを押すと、発信者によってコールが終了されるまで呼び出し音は鳴らなくなります。</p>
ステップ 5	<pre>exit Router(config-register-pool)# exit</pre>	<p>設定モードを終了して、設定モード階層の次の上位モードに移行します。</p>
ステップ 6	<pre>voice register dn dn-tag Router(config)# voice register dn 1</pre>	<p>SIP 電話機、インターコム回線、音声ポート、または MWI の電話番号を定義するため、voice register dn モードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <i>dn-tag</i>: 特定の電話番号 (内線番号) を設定作業時に識別する固有のシーケンス番号。値の範囲は、1 ~ 150 (または max-dn (voice register global) コマンドで定義した最大値) です。
ステップ 7	<pre>call-forward b2bua noan directory- number timeout seconds Router(config-register-dn)# call-forward b2bua noan 5010 timeout 10</pre>	<p>SIP バックツーバック ユーザ エージェントのための自動転送を有効にして、無応答の内線番号に着信したコールが指定電話番号に転送されるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco CME 3.4 および Cisco Unified CME 4.0 の場合、このコマンドは voice register pool 設定モードでも使用できます。voice register dn モードで設定する情報は、voice register pool モードで設定した情報よりも優先されます。 <i>timeout seconds</i>: コールが宛先電話番号に自動転送される前に呼び出し音を鳴らす時間の長さ。値の範囲は 3 ~ 60000 です。デフォルト値は 20 です。
ステップ 8	<pre>end Router(config-register-pool)# end</pre>	<p>設定モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。</p>

例

次の例は、voice register pool 1 として識別される SIP 電話機上で有効になっている [サイレント (DND)] ソフトキーを示しています。

```
Router# voice register pool 1
Router(config-register-pool)# dnd
```


インターコム自動応答の設定

SIP 電話機の内線番号のインターコム自動応答機能を有効にするには、この項で示す手順に従います。

PLAR (Private Line, Automatic Ringdown) に似た Cisco Unified IP Phone 回線接続を作成します。自動応答によって、コールを発信するときは自動ダイヤルし、コールが着信したときは呼び出し音を鳴らさずに自動応答するように内線番号を運用します。内線番号をインターコム用に設定する場合、その内線番号は 1 台の Cisco Unified IP Phone だけに関連付けることができます。

すべての発信者がインターコム内線番号にダイヤルできるため、インターコム発信者以外が発信したインターコム内線番号へのコールは、正規のインターコム コールとまったく同じように自動的に応答されます。



ヒント

インターコム発信者以外がインターコムの宛先に手動でダイヤルできないようにするには、**number (voice register dn)** コマンドを使用して、インターコム内線に番号を割り当てる際に英字を使用します。英字は通常の電話機からダイヤルできませんが、事前にプログラムされた、Cisco Unified ルータによってコールが発信されるインターコム内線ではダイヤルできます。

要約手順

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register dn *dn-tag***
4. **number *number***
5. **auto-answer**
6. **end**

詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを入力するように求められた場合は、入力します。
ステップ 2	configure terminal Router# configure terminal	global 設定モードを開始します。
ステップ 3	voice register dn <i>dn-tag</i> Router(config-register-global)# voice register dn 1	SIP 電話機、インターコム回線、音声ポート、または MWI の電話番号を定義するため、voice register dn 設定モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>dn-tag</i> : 特定の電話番号 (内線番号) を設定作業時に識別する固有のシーケンス番号。値の範囲は、1 ~ 150 (または max-dn (voice register global) コマンドで定義した最大値) です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<pre>number number Router(config-register-dn)# number A5001</pre>	<p>Cisco Unified CME で SIP 電話機に割り当てられる電話番号用の有効な番号を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <i>number</i> : E.164 電話番号を表す最大 16 文字の文字列。 インターコム番号のように、この番号が Cisco Unified CME ルータによってしかダイヤルされず、電話機のキーパッドからダイヤルされない場合は、数字列に英字を含めることができます。
ステップ 5	<pre>auto-answer Router(config-register-dn)# auto-answer</pre>	SIP 電話機の内線番号のインターコム自動応答機能を有効にします。
ステップ 6	<pre>end Router(config-register-dn)# end</pre>	設定モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。

例

次の例は、SIP 電話機の内線番号 1 のインターコム自動応答機能を設定する方法を示しています。

```
Router(config)# voice register dn 1
Router(config-register-dn)# number A5001
Router(config-register-dn)# auto-answer
```

短縮ダイヤル機能の設定

Cisco Unified CME の Cisco SIP IP Phone 用の短縮ダイヤル機能を設定するには、**speed-dial (voice register pool)** コマンドを使用します。

Cisco Unified IP Phone では、実際の内線番号に割り当てられていない空いているボタンに短縮ダイヤル定義が割り当てられます。短縮ダイヤルの各定義は、それぞれの ID 番号の順序で割り当てられます。

たとえば、短縮ダイヤル 1 を定義すると、内線番号へのボタンの割り当てが終わった後に空いている最初のボタンに割り当てられます。電話機のボタンを内線番号用に 2 つ使用している場合、短縮ダイヤル 1 は、電話機で物理的順序が 3 番目のボタンに割り当てられます。短縮ダイヤル 2 を定義すると、その番号は電話機で物理的順序が 4 番目のボタンに割り当てられます。

Cisco Unified IP Phone の場合、短縮ダイヤル番号は管理者が割り当てることができます。また、*digit-string* 引数の先頭がプラス記号 (+) である場合は、短縮ダイヤル番号をロックできます。ロックされた番号を電話機で変更することはできません。

短縮ダイヤル番号を持たない短縮ダイヤル インスタンス (シャープ記号だけで定義されているもの) およびロックされていない *digit-string* 引数を持つ短縮ダイヤル インスタンスは、ユーザが各自の Cisco Unified IP Phone で変更できます。

Cisco ATA-186 または Cisco ATA-188 を使用して Cisco Unified CME にアクセスしているアナログ電話機ユーザは、別の方法で短縮ダイヤル番号にアクセスします。Cisco ATA デバイスを使用している電話機ユーザは、短縮ダイヤル ボタンを押す代わりに、アスタリスク (*) キーと *speed-tag* の数字 (短縮ダイヤル ID) を押すことによって、短縮ダイヤル番号をダイヤルします。たとえば、Cisco ATA-186 を使用している電話機ユーザは、*1 を押すことによって、電話機上で短縮ダイヤル 1 としてプログラムされた番号をダイヤルします。Cisco ATA デバイスを使用する電話機の場合、短縮ダイヤル番号の数は最大 9 個に制限されており、それらの番号をシステム管理者がプログラムする必要があります。番号を電話機からプログラムすることはできません。Cisco ATA デバイスを使用する電話機で短縮ダイヤル番号をプログラムした場合、システム管理者はそれを電話機ユーザに伝える必要があります。

制約事項

Cisco Unified CME 4.0 より前のバージョンでは、**speed-dial** コマンドは特定の SIP IP Phone (Cisco Unified IP Phone 7960 および 7940 など) で機能しません。このような SIP 電話機では、電話機ユーザは各自の Cisco Unified IP Phone で短縮ダイヤル番号を手動で設定する必要があります。


要約手順

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register pool *pool-tag***
4. **speed-dial *speed-tag digit-string [label label-text]***
5. **end**

詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを入力するように求められた場合は、入力します。
ステップ 2	configure terminal Router# configure terminal	global 設定モードを開始します。
ステップ 3	voice register pool <i>pool-tag</i> Router(config)# voice register pool 23	指定した SIP 電話機のパラメータを設定するため、voice register pool 設定モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>pool-tag</i>: 設定する SIP 電話機の固有のシーケンス番号。値の範囲は、1 ~ 100 (または max-pool (voice register global) コマンドで定義した上限値) です。

■ 次の作業

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<pre>speed-dial speed-tag digit-string [label label-text]</pre> <pre>router(config-register-pool)# speed-dial 2 +5001 label "Head Office"</pre>	<p>Cisco Unified CME の SIP 電話機、またはアナログアダプタ (ATA) を使用するアナログ電話機の短縮ダイヤル定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>speed-tag</i>: この短縮ダイヤル定義を設定時に識別する固有のシーケンス番号。値の範囲は 1 ~ 5 です。 • <i>digit-string</i>: 短縮ダイヤル ボタンが SIP 電話機上で押されたときにダイヤルされる番号。または、関連付けられたコードが、Cisco ATA デバイスを使用するアナログ電話機から入力されたときにダイヤルされる番号。 <p> (注) Cisco Unified IP Phone の場合、先頭にプラス記号 (+) を付けると、この短縮ダイヤル番号はロックされ、電話機で変更することはできません。シャープ記号 (#) だけである場合は、短縮ダイヤル番号が付加されていない、ユーザがプログラムできる短縮ダイヤル ボタンが設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>label label-text</i>: (オプション) 短縮ダイヤル ボタンの横に表示するテキスト文字列。文字列にスペースが含まれている場合、文字列を引用符で囲みます。
ステップ 5	<pre>end</pre> <pre>Router(config-register-pool)# end</pre>	<p>設定モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。</p>

例

次の例は、内線番号 5001 のヘッドオフィスにダイヤルするための短縮ダイヤル ボタン 2 を設定する方法を示しています。電話機ユーザが電話機で設定を変更できないように、設定はロックされています。

```
Router(config)# voice register pool 23
Router(config-register-pool)# speed-dial 2 +5001 label "Head Office"
```

次の作業

個々の SIP 電話機についてオプション機能の変更または設定が終了したら、電話機をリブートまたはリセットする必要があります。P.57 の「Cisco Unified CME の SIP 電話機のリセット」を参照してください。

その他の資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS の音声コマンド (すべてのコマンド構文、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト値、使用上のガイドライン、および例)	<i>Cisco IOS Voice Command Reference</i> , Release 12.3T (http://cisco.com/en/US/products/sw/iosswrel/ps5207/products_command_reference_book09186a00801a7f08.html)
Cisco Unified CME のコマンド (すべてのコマンド構文、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト値、使用上のガイドライン、および例)	<i>Cisco Unified CallManager Express Command Reference</i> (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/products_command_reference_book09186a00805b6c70.html)
Cisco Unified CME のシステム管理者用マニュアル	<i>Cisco Unified CallManger Express システム アドミニストレータ ガイド</i>

RFC

RFC	タイトル
—	—

テクニカル サポート

説明	参照先サイト
Cisco Technical Support & Documentation Web サイトには、製品、テクノロジー、ソリューション、技術上のヒント、およびツールへのリンクを含めて、数千ページに及ぶ検索可能な技術資料が用意されています。Cisco.com 登録ユーザは、このページからログインすることで、さらに多くのコンテンツにアクセスできます。	http://www.cisco.com/techsupport

SIP 電話機用に Cisco Unified CME で設定する機能

表 1 は、このモジュールの機能のリスト、および設定に関する特定の情報へのリンクを示しています。この表では、Cisco IOS Release 12.4(4)T 以降のリリースで導入または変更された機能だけを示しています。

このテクノロジーに関連する機能のうち、このマニュアルに記載していないものについては「[Cisco Unified CallManager Express: All Versions](#)」を参照してください。

使用している Cisco IOS ソフトウェア リリースで、すべてのコマンドが使用できるとは限りません。特定のコマンドに関するリリースごとの情報については、コマンド リファレンス マニュアルを参照してください。

Cisco Feature Navigator を使用して、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索します。Cisco Feature Navigator を使用すると、Cisco IOS と Catalyst OS のどのソフトウェア イメージが、特定のソフトウェア リリース、機能セット、およびプラットフォームをサポートしているかを特定できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> を参照してください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 1 では、それぞれの機能に対するサポートが Cisco IOS ソフトウェア リリースに導入されたときのリリース番号だけを示しています。特に説明のない限り、記載されている Cisco IOS ソフトウェア リリースの後続のリリースも、その機能をサポートしています。

表 1 SIP 電話機用に Cisco Unified CME で設定する機能

機能の名前	リリース	機能の説明
サイレント (DND)	12.4(4)T	<p>[サイレント (DND)] ソフトキーを使用すると、無応答タイムアウトの満了を待たずに、着信コールをコールの着信側でただちに転送できます。無応答時転送を設定していない場合は、[サイレント (DND)] ソフトキーを押すと、コールがキャンセルされるまで呼び出し音が鳴らなくなります。この機能については、次の項で説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> テンプレートの作成と SIP 電話機への適用 (P.88) サイレント (DND) の設定 (P.93) <p>このリリースで導入または変更されたコマンド : dnd。</p>
インターコム		<p>PLAR に似た Cisco IP Phone 回線接続を作成します。自動応答によって、コールを発信するときは自動ダイヤルし、コールが着信したときは呼び出し音を鳴らさずに自動応答するように内線番号を運用します。内線番号をインターコム用に設定する場合、その内線番号は 1 台の SIP 電話機だけに関連付けることができます。この機能については、次の項で説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターコム自動応答の設定 (P.95) <p>このリリースで導入または変更されたコマンド : auto-answer。</p>
短縮ダイヤル		<p>SIP 電話機上の短縮ダイヤルをサポートします。この機能については、次の項で説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル機能の設定 (P.96) <p>このリリースで導入または変更されたコマンド : speed-dial。</p>

表 1 SIP 電話機用に Cisco Unified CME で設定する機能 (続き)

機能の名前	リリース	機能の説明
SIP 電話機用のテンプレート	12.4(4)T	<p>個々の Cisco SIP IP Phone に適用できる共通機能およびソフトキーのテンプレートを作成します。この機能については、次の項で説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> テンプレートの作成と SIP 電話機への適用 (P.88) <p>このリリースで導入または変更されたコマンド：voice register template、template。</p>
3 者間会議		<p>SIP 電話機間、および SIP 電話機と SCCP 電話機が混在する状況での、G.711 による 3 者間会議をサポートします。SIP および PSTN トランク コールも、会議に参加することができます。</p> <p>会議をカスケードして、4 者以上を会議に含めることもできます。</p> <p>SIP 対 H.323 コールはサポートされません。SIP 電話機から開始されたコール保留の場合、MOH はサポートされません。SIP 電話機からコールを保留した場合、発信者には何も聞こえません。</p> <p>この機能については、次の項で説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話会議機能の設定 (P.90) <p>このリリースで導入または変更されたコマンド：keep-conference。</p>

